



平成31年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月10日

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス

上場取引所 東

コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 垣内 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 堀田 欣弘

TEL 03-3254-2501

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	4,191	1.4	469	4.5	477	4.4	331	1.3
30年2月期第3四半期	4,249	3.7	448	16.1	457	14.0	327	14.3

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 321百万円 (2.4%) 30年2月期第3四半期 329百万円 (12.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	12.56	
30年2月期第3四半期	12.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	5,752	4,981	86.6	188.72
30年2月期	5,576	4,844	86.8	183.49

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 4,981百万円 30年2月期 4,843百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		7.00	7.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,787	4.2	603	14.4	600	10.4	419	11.2	15.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	32,237,249 株	30年2月期	32,237,249 株
期末自己株式数	31年2月期3Q	5,844,059 株	30年2月期	5,844,057 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	26,393,191 株	30年2月期3Q	26,580,163 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調にあるものの、国内において個人消費は力強さを欠き、また、米中貿易摩擦の影響による海外経済の不確実性等、先行き不透明な状況が続きました。

このような経済環境下、雇用情勢については企業収益の改善が続く中で採用意欲の回復傾向は継続しており、当社の収益基盤である静岡県においては平成30年11月の有効求人倍率が前年同月比0.04ポイント上昇の1.64倍となり、雇用環境は底堅く推移しております。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力しました。

当社主力事業である求人情報事業では、企業の採用意欲が継続している市場環境下、重点地域である名古屋、西三河エリアにおいて、応募効果の向上を図るため、無料求人誌『DOMO（ドモ）』、求人情報サイト『DOMO NET（ドモネット）』、合同求人チラシ『DOMO（ドモ）リーフ』をセットにした商材の販売強化に努めました。また、属性に応じた求人ニーズに応えるべく、製造業を対象とした『工場のお仕事紹介フェア』や子育てママから就職、転職を希望する女性のための合同企業面談会『シゴトフェア Woman（ウーマン）』等のリアルマッチングイベントを開催し、介護業界や警備・清掃・ビルメンテナンス業界に特化した『DOMOリーフ』特別号の発行、求人広告の文字を2倍にしたシニア求職者対象の『DOMO 60才以上の求人特集版』や転職・正社員にチャレンジする女性を対象にした『DOMO 女性正社員版』を発行いたしました。

外国人採用支援事業では、平成30年3月に日本国内のミャンマー人を対象にした人材マッチングイベント『ミャンマー Job Fair（ジョブフェア）』を継続開催いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は4,191百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。売上原価は1,292百万円（前年同四半期比2.1%減）、販売費及び一般管理費は2,430百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。営業利益は469百万円（前年同四半期比4.5%増）、経常利益は477百万円（前年同四半期比4.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は331百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。

セグメント別の業績（セグメント間の内部取引消去前）を示すと、次のとおりであります。

(情報提供事業)

情報提供事業では、『DOMO』静岡県内版の売上は減少したものの、ネット商品である正社員向け転職・就職サイト『JOB（ジョブ）』・求人情報サイト『DOMO NET』の販売が堅調に推移し、前連結会計年度に投入した顧客専用の採用管理システムを提供する新サービスの販売も増加したことから、売上高は3,517百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は909百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

(販促支援事業)

販促支援事業では、子育て主婦向けダイレクトプロモーションの販売は伸長したものの、主たる事業であるフリーペーパーの取次において大口顧客の休刊等により販売が減少し、販促支援事業における売上高は713百万円（前年同四半期比8.9%減）、セグメント利益は65百万円（前年同四半期比45.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が5,752百万円（前連結会計年度末比3.2%増）、負債が771百万円（前連結会計年度末比5.4%増）、純資産が4,981百万円（前連結会計年度末比2.8%増）となりました。また、自己資本比率は86.6%となりました。

資産の部では、流動資産が4,902百万円（前連結会計年度末比3.8%増）となりました。内訳として、現金及び預金が4,167百万円（前連結会計年度末比3.9%増）、売掛金が604百万円（前連結会計年度末比2.5%増）等となったためです。

固定資産は849百万円（前連結会計年度末比0.5%減）となりました。内訳として、有形固定資産が605百万円（前連結会計年度末比0.2%減）、無形固定資産が105百万円（前連結会計年度末比24.4%増）、投資その他の資産が138百万円（前連結会計年度末比14.7%減）となったためです。

負債は771百万円（前連結会計年度末比5.4%増）となりました。これは、未払金が430百万円（前連結会計年度末比0.6%減）、未払法人税等が98百万円（前連結会計年度末比23.9%増）、賞与引当金が45百万円（前連結会計年度末比24.1%減）等となったためです。

純資産は4,981百万円（前連結会計年度末比2.8%増）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が5,060百万円（前連結会計年度末比3.0%増）等となったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期業績予想につきましては、平成30年4月10日付「平成30年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,009,583	4,167,684
売掛金	590,206	604,836
その他	122,583	130,330
貸倒引当金	△307	△406
流動資産合計	4,722,065	4,902,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	151,975	142,497
土地	444,475	444,475
その他(純額)	10,070	18,457
有形固定資産合計	606,520	605,429
無形固定資産		
ソフトウェア	74,384	95,090
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	84,990	105,696
投資その他の資産		
その他	164,311	140,232
貸倒引当金	△1,547	△1,379
投資その他の資産合計	162,763	138,853
固定資産合計	854,274	849,979
資産合計	5,576,340	5,752,423
負債の部		
流動負債		
未払金	433,508	430,854
未払法人税等	79,077	98,004
賞与引当金	60,546	45,958
その他	158,664	196,439
流動負債合計	731,796	771,256
負債合計	731,796	771,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	4,913,272	5,060,272
自己株式	△1,076,000	△1,076,000
株主資本合計	4,833,694	4,980,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,866	3,477
為替換算調整勘定	△1,514	△3,005
その他の包括利益累計額合計	9,352	471
非支配株主持分	1,496	—
純資産合計	4,844,543	4,981,166
負債純資産合計	5,576,340	5,752,423

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	4,249,469	4,191,857
売上原価	1,320,781	1,292,408
売上総利益	2,928,688	2,899,448
販売費及び一般管理費	2,479,693	2,430,230
営業利益	448,994	469,218
営業外収益		
受取利息	122	124
受取賃貸料	630	630
為替差益	—	2,045
投資事業組合運用益	2,584	5,163
その他	9,021	2,860
営業外収益合計	12,357	10,824
営業外費用		
違約金	527	1,489
その他	3,663	1,301
営業外費用合計	4,190	2,791
経常利益	457,161	477,251
特別損失		
減損損失	4,768	6,419
特別損失合計	4,768	6,419
税金等調整前四半期純利益	452,393	470,832
法人税、住民税及び事業税	71,163	136,616
法人税等調整額	54,893	3,307
法人税等合計	126,056	139,924
四半期純利益	326,336	330,908
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,129	△844
親会社株主に帰属する四半期純利益	327,466	331,752

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	326,336	330,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,268	△7,388
為替換算調整勘定	△163	△2,143
その他の包括利益合計	3,104	△9,532
四半期包括利益	329,441	321,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,636	322,872
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,194	△1,496

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,503,891	745,578	4,249,469	—	4,249,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	37,600	37,600	△37,600	—
計	3,503,891	783,179	4,287,070	△37,600	4,249,469
セグメント利益	822,154	118,794	940,949	△491,954	448,994

(注) 1. セグメント利益の調整額△491,954千円は、セグメント間取引消去3,330千円及び全社費用△495,284千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「情報提供事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては4,768千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,517,615	674,241	4,191,857	—	4,191,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	39,488	39,488	△39,488	—
計	3,517,615	713,729	4,231,345	△39,488	4,191,857
セグメント利益	909,502	65,208	974,711	△505,493	469,218

(注) 1. セグメント利益の調整額△505,493千円は、セグメント間取引消去3,330千円及び全社費用△508,823千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「情報提供事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては6,419千円であります。